

若手躍動！三木市B快進撃

9年ぶり3位入賞

第65回東播地区親善剣道大会



最高気温40度の「危険な暑さ」はやわらいだもの、やはり酷暑厳しい平成30年8月19日、第65回東播地区親善剣道大会が明石中央体育館で行われた。東播地区8市1郡9剣道連盟から、個人戦男子36人、女子25人の計61人、団体戦に16団体選手監督計96人、合わせて延べ157選手監督と役員審判員・補助員ほか関係者約200名、合わせて延べ約350名が参集する記念大会となった。

開会式で開催市の明石市剣道連盟会長神成富雄大会会長が挨拶に立ち、今大会は昭和29年に西脇市で行われた優勝大会を翌年も昭和30年を第1回として5市で始めたこと、徐々に7市、8市大会へ。平成25年第60回大会から加古郡が参加し、東播地区親善剣道大会となったことなど、現在までの経緯と歴史を紹介した。

大会の歴史の中で三木市は一度も優勝と準優勝がなく決勝進出は高い壁であり積年の悲願だ。だが近年、青年指導部が組織的に稽古を強化し、実力、気力十分。今回ベスト4以上を目標に他市の試合巧者に挑んだ。果たして若手が躍動した三木市Bは平成21年以来9年ぶりの3位入賞をもち取った。

No.183

三木市剣道連盟
広報部

平成30(2018)年
8月～10月号

11月5日(月)発行

○第65回東播地区親善
剣道大会(1・2・3面)

○三木市剣道連盟指導
者研修会(4面)

○宮脇義昌元三木市
剣道連盟会長逝去、第53
回三木市中学校新人体
育大会剣道の部(5面)

○六段昇段者の言葉、
全国青年大会出場決定
(6面)

◎本紙は三木市剣連
HP(<http://mikikeren2011.web.fc2.com/>)でもご覧になれます。PDFでカラー印刷
できます。

個人戦は振るわず

個人戦男子に加村友多(三段)と女子四段以上の部に平井敦子(四段)が出場。加村選手は一回戦不戦勝で、二回戦に進んだが明石の松井優治(三段)にコテを奪われて一本負け。平井選手は、一回戦で明石の寺井美香(五段)と対戦。上段の相手に善戦したものの、メンを奪われてあえなく敗退。寺井選手はそのまま勢いに乗り、個人戦の部で優勝を果たした。

三木勢の奮起を期待する。



3位入賞を果たした三木市Bチーム

団体戦の部 組み合わせ

第3試合場 9 三木市B 10 西脇市B 11 高砂市A 12 加古郡B	第4試合場 13 加西市B 14 加古川市 15 明石市B 16 加東市	第1試合場 1 小野市 2 高砂市A 3 西脇市A 4 明石市A	第2試合場 5 加西市A 6 三木市A 7 加古川市 8 加古郡A
--	--	--	---

三木市Aは無念、三木市B堂々の3位入賞

午後からの団体戦には、三木市からA・B2チームが出場した。三木市Aは、予選で加西市Aに2-1で勝ったが、加古川市A相手に大将小阪(四段)が一色(五段)のメンを奪い一矢報いたものの、先鋒以下副将まで2本負けで1-4と敗退。続く加古郡Aにも小阪が勝利したが1-2と敗れた。

Aチームが第一試合場で戦っている間、第三試合場では三木市Bチームが躍動した。一試合目に対西脇市Bを相手にまず東播地区大会初陣の若武者、18才赤松伸哉(三段)が、西脇B山田(四段)に二本勝ちを収めて初陣を切る。士気が上がる三木市軍団。次鋒植林(三段)も二本勝ちで続く。中堅川人(二段)の相手は、手ごわい西脇市Bの監督権選手の村岡(四段)。果たして先に小手を取られる。すぐさま小手を取り返した川人、勝負になった後相手が勝ちを焦って面に飛んだところを見事な返し胴で勝利を決定づけた。副将山口直(五段)は分け、大将西本(五段)は得意のコレを決め、終わってみれば、410の圧勝だった。



三木市A、健闘したが予選突破ならず。

実績十分の高砂市に、勢いに乗る三木市の若武者が挑む。勝敗の行方は紙一重。五人のうち一人でも、あるいは五試合の時間のうち誰かが一瞬でも気を緩めれば勝利は逃げていく。先鋒戦。三木市の赤松対高砂市平原三段。平原選手が胴を先取したが、勝利を焦ったか、場外反則と時間空費の反則で赤松に一本を奪われ、引分けになる。三木市Bは、赤松が負けずに最後まで戦う執念を次鋒に受け渡した。高砂市は、勝てたはずの試合を落とした。



試合に臨む三木市Bチームの選手たち

この勝利でリズムと勢いが生まれた三木市Bは、続く加古郡B相手にも、相手に一本も与えず510と完勝した。残るは高砂市A。三木市と同じく2勝同士。双方の決勝に向けた気力のぶつかり合う決戦となった。

この差が選手の心理に微妙に影響したのではないか。気を抜かず、いい仕事をした初出場18才赤松選手。今後が楽しみだ。続く三木市の次鋒植林は気負うことなく積極的な攻めを繰り出し熊谷選手からメンを先取した後、大胆にツキからメンに乗るとこれが見事に決まり二本勝ち。中堅川人も気迫十分。難敵の高砂市利倉選手から貴重なメン一本を奪った。この時点で三木市が2勝1分け。高砂市は残る2試合を勝たなければならなくなった。引分けもできない。しかも残る二人ともに二本勝ちをすることが最低条件で、三木市に一本でも取られると代表戦しか道はない。決戦の副将戦は高砂市の副将坂本五段がメンを先取。強豪高砂市のメンツを保ちわずかな望みをつけないだかに見えたそのすぐあと、三木市山口が小手を奪い返す。時間が無い。追い詰められた坂本選手。何としてでもあと一本を奪おうと攻めに攻めるも山口選手が必死にしのぎ、ついに4分間の終了を告げるホイッスルが鳴り、引分け。三木市Bの勝利がこの時点で確定した。

大将戦は西本選手が西脇市大将黒崎選手相手に奮戦。気迫十分の逆胴がさく裂して一本勝ち。結果、三木市Bは高砂市Aに3勝2分けと完勝だ。この結果、三木の若武者たちは、9年前に高砂市を下して3位入賞を果たして以来のベスト4確定という快挙を成し遂げた。

この差が選手の心理に微妙に影響したのではないか。気を抜かず、いい仕事をした初出場18才赤松選手。今後が楽しみだ。続く三木市の次鋒植林は気負うことなく積極的な攻めを繰り出し熊谷選手からメンを先取した後、大胆にツキからメンに乗るとこれが見事に決まり二本勝ち。中堅川人も気迫十分。難敵の高砂市利倉選手から貴重なメン一本を奪った。この時点で三木市が2勝1分け。高砂市は残る2試合を勝たなければならなくなった。引分けもできない。しかも残る二人ともに二本勝ちをすることが最低条件で、三木市に一本でも取られると代表戦しか道はない。決戦の副将戦は高砂市の副将坂本五段がメンを先取。強豪高砂市のメンツを保ちわずかな望みをつけないだかに見えたそのすぐあと、三木市山口が小手を奪い返す。時間が無い。追い詰められた坂本選手。何としてでもあと一本を奪おうと攻めに攻めるも山口選手が必死にしのぎ、ついに4分間の終了を告げるホイッスルが鳴り、引分け。三木市Bの勝利がこの時点で確定した。

三木市の優秀選手には、3勝1分けと大健闘した赤松伸哉選手が初受賞した。決勝は、明石市Aを下した加古川市Aと明石市Bの間で戦われ、加古川市Aが3連覇を果たした。反省会では、来年に三木市で開かれる本大会で、初優勝を目指そうと誓い合った。

決勝トーナメント準決勝戦では、第4試合場の予選リーグで加古川市Bとの接戦を制して勝ち上がった地元の明石市Bが相手である。先鋒赤松は勢いに任せて山本選手に2本勝ちで明石市にプレッシャーをかける。しかしながら、明石市Bの選手は焦らなかつた。明石市次鋒菅野から植林が一本を返したが、以下中堅から大将まで三木市相手に力の差を見せつけ、隙を見せない剣道で一本も取りこぼすことがなかつた。大将戦で、西本は寺井相手にいい試合をしたが引分け、結局明石市Bに1勝3敗1分けで、堂々の3位入賞となった。



大将西本、逆胴を決める

(3)

	先	次	中	副	大	勝	本
三木市B	赤松	植林	川人	山口直	西本	4	7
	⊗コ	⊖メ	⊗コド		⊖		
西脇市B						0	1
	山田	渡邊	村岡	名越	黒崎		

☆ 団体戦の結果は以下のとおり
【三木市B 予選リーグ】

大会功労者に大柴敏昭氏
 なお、本大会の開会式で、第65回の記念大会にちなみ、各市郡で推薦された本大会の功労者に対する表彰があった。三木市は大柴敏昭氏が表彰を受けた。



Bチーム先鋒
赤松伸哉選手

	先	次	中	副	大	勝	本
三木市B	赤松	植林	川人	山口直	西本	3	6
	反	⊗メ	⊗	コ	⊗ド		
高砂市A						0	2
	⊗ド	平原	熊谷	利倉	坂本		

	先	次	中	副	大	勝	本
三木市B	赤松	植林	川人	山口直	西本	5	9
	⊗コ	⊗	⊗ド	⊗メ	⊖コ		
加古郡B						0	0
	南城	永山	中島	澤田	藤野		

	先	次	中	副	大	勝	本
加西市A	木田	藤原	達可	山本	光石	1	1
					⊗		
三木市A						2	2
	⊖	⊗					
三木市A	中森	低田	山口優	栗田	小阪	2	2
		メ			⊗コ		

【三木市A 予選リーグ】

	先	次	中	副	大	勝	本
三木市B	赤松	植林	川人	山口直	西本	1	3
	⊖メ	コ					
明石市B						3	5
	⊗メ	⊗ド	⊖				
明石市B	山本	菅野	英保	浅野	寺井	3	5

【準決勝 三木市B】

	先	次	中	副	大	勝	本
三木市A	中森	低田	山口優	栗田	小阪	1	3
		メ			⊗コ		
加古郡A	⊗コ	⊗		⊗		2	4
	川口	織田島	斉藤	水野	田中		

	先	次	中	副	大	勝	本
三木市A	中森	低田	山口優	栗田	小阪	1	1
					⊗		
加古川市A	⊗メ	⊗メ	⊗コ	⊗メ		4	8
	坂本	阿部	中村	松本	一色		